

【NEWS RELEASE】

2021年8月31日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社テイツーに「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社テイツー（代表取締役社長：藤原 克治）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社テイツーについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 本や様々な商品のリユース事業を通じた廃棄物削減、店舗の電力消費削減への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

② 漫画の提供等を通じた地域活性化、e スポーツ普及活動を通じた子どもや障がい者の社会的包摂の促進

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
目標 10 人や国の不平等 をなくそう	10.2 2030年までに、年齢、性別、障がい、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化および社会的、経済的および政治的な包摂を促進する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



古本市場1号店(豊浜店)看板外観。書籍、ゲーム、CD・DVD、トレーディングカード、ホビー、古着、携帯電話のリユースを推進しております。



廃校となった岡山県真庭市二川小学校跡地に、地方創生活動の一環で、新たな観光資源開発として、まんが館の設立を産官学協働で展開中です。

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。